
札幌学院大学・利尻富士町が包括連携協定を締結 ～離島フィールドワークを通じて若者たちに地方創生の意義を伝える～

札幌学院大学（北海道江別市、学長：菅原秀二）と利尻富士町（北海道利尻郡、町長：田村祥三）は次世代を担う優れた人材の育成、利尻富士町での地域ブランドの向上と産業成長、高齢化問題の解決等に資することを目的とした包括的連携協定を締結いたします。

利尻富士町は利尻島にある人口約2,200名のまちで、町のシンボルである利尻山は「利尻富士」とも呼ばれ毎年多くの登山客・観光客が訪れています。豊かな水産資源にも恵まれ、特に利尻昆布やウニはまちの名産品となっております。

一方で、急速な人口減少と高齢化が進み、後継者不足による産業の存続や島内の児童生徒への教育支援などが大きな課題となっております。

本協定が、札幌学院大学の教育研究の活性化と利尻富士町の発展に寄与するものと判断し、包括連携協定を締結するものです。

1. オンライン連携協定締結式について

下記の日程にてオンラインによる連携協定締結式を執り行います。

日時：2025年11月7日（金）10：30～

内容：札幌学院大学・利尻町 包括連携協定締結式

開催方式：ZOOM ウェビナーによるオンライン開催

2. 協定の主な内容

- (1) 次世代の北海道を担う優れた人材の育成に向けた取組
- (2) 地域ブランドの向上と産業成長への協力
- (3) 講演会やセミナー等の開催
- (4) 実践的な大学教育の創造
- (5) 地域における少子高齢化、経済動向、企業動向に関する情報交換及び連携
- (6) その他、本協定の目的を達成するために必要と認める事項に関すること

3. 今後の具体的な連携事業

来年度に柘真賀 透 教授(札幌学院大学人文学部人間科学科)が担当する教養科目「地域貢献」において、利尻富士町でのフィールドワークを開講する予定となっております。

4. オンライン連携協定締結式へのご参加を希望される報道機関の皆さまへ

オンライン連携協定締結式へのご参加をご希望の方は、11月5日（水）までに、札幌学院大学社会連携課（松本）へメール（sharen@ims.sgu.ac.jp）にてお申込みください。おって ZOOM ウェビナーのアカウントをお知らせします。

なお、式終了後に質疑応答の時間を設けさせていただきますが、ZOOM ウェビナーには音声による発言機能がございませんので、画面下の「Q&A」への書き込みによりご質問をいただくことになります。ご不便をおかけしますがよろしくお願いいたします。

【本件に関するお問い合わせ先】

- 札幌学院大学 社会連携課 松本 TEL：011-386-8111（代表）、メール：sharen@ims.sgu.ac.jp
- 利尻富士町 企画政策課 種谷 TEL：（代表）